

令和2年度版『せいかつ下 なかよし ひろがれ』年間指導計画・評価計画(案)

■教科書活用例 ★学習したことを、家庭や地域へつなげる活動 ●発展的な学習内容

【発】発言分析 【行】行動観察 【作】作品分析

第2学年導入 (学習指導要領との関連)			目標		観点別評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わくわく 2年生 (主たる内容9・内容3)  指導月 : 4月 配当時数 : 3時間 教科書 : 下巻p. 2～5			新1年生と関わったり、春のまちを探検したりする活動を通して、2年生になってやってみたいことなどについて考えることができ、季節がめぐったことや自分の成長に気付き、進級した自分に自信をもって、意欲的に生活することができるようにする。		季節がめぐったことや自分の成長に気付いている。	1年生の頃を振り返りながら、2年生になってやってみたいことなどについて考えている。	進級した自分に自信をもって、意欲的に生活しようとしている。
時数	頁	導入	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	2～3	ようこそ 1年生。学校の ことをつたえたいな	新1年生を迎える活動を通して、自分の成長を捉え、自分が大きくなったこと、できるようになったことに気付き、自分への自信をもって1年生と関わることができるようにする。	○2年生に進級し、新1年生を迎えることへの期待や喜びをカードに書いたり、伝え合ったりする。 ○新1年生にしてあげたいことや教えてあげたいことを話し合う。 ■「新1年生にこんなことをつたえたいな」を書き、自分の思いを整理する。	自分が大きくなったこと、できるようになったことに気付いている。 【発】 【行】	自分の成長を捉えて、自分ができていることを表現している。 【発】 【行】	2年生に進級した喜びを感じ自分への自信をもって1年生と関わろうとしている。 【発】 【行】
2	4～5	ぼかぼか お日さま 出かけたね	みんなで、身近な地域に出かけ、冬の様子と比べて、春になった地域の様子に気付き、季節や季節による生活の変化を見付けることができるようにする。	○学校のまわりにどんな春を見つけることができるか予想する。 ○まちや人々、田畑の様子などに目を向けて歩く。	春になった地域の様子に気付いている。 【発】 【行】	冬の様子を思い浮かべながら、探検をしている。 【発】 【行】	地域の様子に関心をもって、季節や季節による生活の変化を見付けようとしている。 【発】 【行】

単元 (学習指導要領との関連)		目標		観点別評価規準			
めざせ 野さい作り名人 (主たる内容7 内容8)  指導月 : 5~10月 配当時数 : 10時間 教科書 : 下巻p. 6~21		野菜などの植物を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、適切な世話の仕方、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、植物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
野菜などの植物を育てる活動を通して、それらは生命をもっていることや成長していることに気付いている。	野菜などの植物を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	野菜などの植物を育てる活動を通して、植物への親しみをもち、大切にしようとしている。					
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	6~7	(とびら)	育ててみたい野菜について話し合い、1年生で花を育てたことを思い起こして、野菜を育てる時期や場所に気づき、野菜を育てる計画を立てることができるようにする。	○いつも食べている野菜は、どのようにして作られているのか、1年生の時の花の栽培や、これまでの経験から予想してみる。 ○花の栽培を通して培った力で、自分でも育てることができることに気付いたり、何を育てたいか考えたりする。	野菜を育てる時期や場所に気付いている。 【発】【行】	1年生で花を育てたことを思い起こしながら、野菜を育てる計画を立てている。 【発】【行】	野菜を育てることに興味をもって、育てる野菜を決めようとしている。 【発】【行】
2	8~9	野さいを そだてよう	植物を育てた経験を生かして、育てる野菜を育てる場所の計画を立て、野菜に合った世話の仕方があることに気づき、おいしい野菜を育てたいという願いをもつことができるようにする。	○教科書や図鑑などを使って調べたり、地域で野菜を作っているや身近な人に聞いたりして育てたい野菜を決める。 ○野菜の種類に応じて必要な準備や世話の仕方について知る。 ○収穫した野菜をどうしたいのか話し合う。	育てる野菜に合った世話の仕方があることに気付いている。 【発】【行】	植物を育てた経験を生かして、育ててみたい野菜を選んだり、育てる場所を決めたりしている。 【発】【作】	おいしい野菜を育てたいという願いをもって、計画を立てようとしている。 【発】【行】
1	10~11	なえを うえよう	世話の仕方を調べたり、詳しい人に聞いたりして、適切な方法で種や苗を植え、大切に育てることができるようにする。	○適切な土を調べて準備をする。 ○苗の植え付けや種まきのやり方を知り、用意した容器や学級園に苗を植えたり種をまいたりする。 ○野菜に合った適切な世話を考える。 ●葉、茎、根などの植物のからだのつくりを、自分が育てている野菜とほかの植物とで比較する。	苗や種の特徴や、育てている野菜に合った世話の仕方に気付いている。 【発】【行】	世話の仕方を調べたり、詳しい人に聞いたりして、種や苗を植えようとしている。 【発】【作】	土づくりなどをして、苗や種を大切に育てることができるようにする。 【発】【行】【作】

2	12~13	世話を しよう	世話の仕方を調べたり、詳しい人に聞いたりして、支柱立てや追肥などの適切な世話をし、野菜の成長や変化に関心をもって観察したり、世話をしたりできるようにする。	○野菜の成長の様子を観察し、気付いたことをカードに記録したり、伝え合ったりする。 ○自分の世話について伝え合ったり表現したりし、そのよさに気付く。 ○野菜の成長に合わせた世話の仕方を知り、大切に世話をする。	野菜の世話において、支柱立てや追肥などの適切な世話をしている。 【発】 【行】	わからないことについて調べたり、詳しい人に聞いたりしたことを活用し、育てたり観察したりしている。 【発】 【作】	野菜の成長や変化に関心を持ち、観察や世話をしようとしている。 【発】 【行】 【作】
1	14~15	しゅうかくしよう	野菜の結実とこれまでの自分の世話を関連付けて捉え、野菜にも生命があることに気が付き、継続して育てた自分への自信をもつことができるようにする。	○野菜の収穫の時期を知り、それを確かめて収穫をする。 ○野菜を収穫した喜びを多様な方法で表現したり、友達に伝えたりする。	野菜にも生命があることに気付いている。 【発】 【作】	自分の世話と関連付けながら、収穫している。 【発】 【行】	継続して育て続けたことに自信を持ち、大切に収穫しようとしている。 【発】 【行】
2	16~17	野さいの ことを ふりかえろう	さまざまな出来事を振り返りながら後片づけをし、育てた野菜への親しみが増したことに気が付き、自分で野菜を育てたことへの自信をもつことができるようにする。	○野菜の収穫後の後片づけをする。 ○これまでのカードなどをもとに、野菜の世話をし、うれしかったことや心配したこと、栽培を通してできるようになったことなどを思い出し、いろいろな方法でまとめる。	・育てた野菜への親しみが増したことに気付いている。 ・後片づけの際、適切な方法で片づけている。 【発】 【作】	苗植え（種まき）から収穫までの、さまざまな出来事を振り返りながら、片づけている。 【発】 【行】 【作】	自分で野菜を育てたことを実感し、自信をもちながら、後片づけをしようとしている。 【発】 【行】
1	18~19	何を かんじたかな	野菜を育てたことを伝え合い、野菜への親しみが増したことで、上手に世話ができるようになったことに気が付き、これから生かし、豊かに生活することができるようにする。	○野菜の成長や収穫の喜び、野菜を育てて思ったことや考えたこと、自分自身が成長したことなどについて話し合ったり伝え合ったりする。 ■「わたしのそだてた野さい」を書き、「まんぞくハジゴ」を使って活動を振り返る。 ★収穫した野菜を家庭で調理して食べる。食べた感想をカードなどにまとめ伝え合う。	野菜への親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。 【発】 【作】	野菜を育てる前の自分と比較して、野菜への親しみが増したことを絵や文で表現したり、伝え合ったりしている。 【発】 【行】 【作】	野菜を育てたことを、これからに生かし、豊かに生活しようとしている。 【発】 【行】
資料	20~21	野さいの そだて方ずかん	野菜の苗の植え方、種のまき方、世話の仕方などを、適宜、参考にする。				
資料	22~23	野さいと くだものの クイズ	野菜にはいろいろな種類があることや、形、旬、食べ方を知ることを通して、野菜への関心を高める。				

単元 (学習指導要領との関連)			目標	観点別評価規準			
<p>まちが大きい たんけんたい (主たる内容3・4 内容8)</p> <p>指導月 : 5～6月 配当時数 : 14時間 教科書 : 下巻p.24～45</p>			<p>地域と関わる活動や、公共物や公共施設などを利用する活動を通して、地域やそこで働いている人々について考えたり、公共施設などのよさや働きを捉えたりすることができ、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていること、身の回りにはみんなで使うものがあること、それらを支えている人々がいることがわかり、地域の人々やさまざまな場所への親しみや愛着をもち、人々に適切に接したり、公共施設や公共物を大切に、安全に正しく利用したりできるようにする。</p>	<p>知識・技能</p> <p>地域と関わる活動や、公共物や公共施設などを利用する活動を通して、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていること、身の回りにはみんなで使うものがあること、それらを支えている人々がいることがわかり、適切に接したり利用したりしている。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>地域と関わる活動や、公共物や公共施設などを利用する活動を通して、地域やそこで働いている人々について考えたり、公共施設などのよさや働きを捉えたりしている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>地域と関わる活動や、公共物や公共施設などを利用する活動を通して、地域の人々やさまざまな場所に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、公共物や公共施設を大切に、安全に正しく利用しようとしている。</p>	
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	24～25	(単元の導入)	<p>地域の場所や人々についてみんなと交流し、身の回りに親しみを感じる場所や気になる場所があることに気付き、地域への関心をもつことができるようにする。</p>	<p>○自分たちの住むまちや、日々の生活でお世話になっている人について思い出したり、話し合ったりする。</p> <p>○まちの中で、お気に入りの場所やお世話になっている人について、自分なりの理由や経験を発表する。</p> <p>○それぞれのお気に入りの場所について話し合いながら分類・整理し、特徴について考える。</p> <p>○みんなで行ってみたいところについて話し合い、探検に行く場所を決める。</p>	<p>身の回りに親しみを感じる場所や気になる場所があることに気付いている。</p> <p>【発】</p>	<p>地域の場所や人々を思い起こし、地域の様子について友達と交流している。</p> <p>【発】【行】</p>	<p>友達を紹介する場所や人に関心をもって伝え合い、地域のさまざまな場所を知ろうとしている。</p> <p>【発】【行】</p>
1	26～27	まちについて話そう					

3	28~29	たんけんの 計画を立てよう	探検の場所や目的を明確にして話し合い、自分が伝えたい場所や人のいる場所、安全な行動やマナーに気付き、友達と協力して探検の計画を立てることができるようにする。	○行く場所や目的、探検の約束などについて話し合い、探検の計画を立てる。 ○床地図を利用して、道順などについて話し合う。 ○話し合ったことや、自分の考えについて「まちたんけん」計画カードや自分の探検マップに記録する。 ●「東西南北」がついている地名などがある場合は、方位を意識する。	・自分が伝えたい場所や人のいる場所がわかっている。 ・安全な行動やマナーの大切さに気付いている。 【発】【作】	行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを思い描きながら、計画を立てている。 【発】【行】【作】	探検への関心と期待感を持ち、友達と協力して計画を立てようとしている。 【発】【行】【作】
3	30~33	たんけんに 出かけよう みんなの ための 場しょを さがそう	自分の生活と関連付けながら、安全な行動やマナーを守って探検し、これまで知らなかった場所や人々の存在に気付き、地域への新たな発見ができるようにする。	○店の様子を外から見て、友達が紹介したことを確認したり、新たな発見をしたりする。 ○駅や図書館などの設備や利用する人々の様子について観察する。 ○設定ができる場合は、そこで働いている人の話を聞いたりする。 ○道路や建物にある掲示板や標識、安全を守るためのものなどを調べる。 ○感想や気付いたことをカードや探検マップに書き加える。	・これまで知らなかった場所や人の存在に気付いている。 ・探検の際、安全な行動や挨拶をしながら探検している。 【発】【行】【作】	自分の生活との関わりを考えながら、探検している。 【発】【行】【作】	諸感覚を働かせたり、地域の人のお話を聞いたりして、新たな発見をしようとしている。 【発】【行】【作】
2	34~35	何を かんじたかな	地域の特徴や発見したことを友達と伝え合い、自分の身の回りには、さまざまな場所や多様な人々が生活していることに気付き、地域への理解を深めることができるようにする。	○地域の店や公共施設を探検して、諸感覚を使って観察したり、そこで働く人の話を聞いたりしてたことを「探検カード」などに絵や文で表現する。 ○「探検カード」などをもとに自分の気付きや経験を発表したり友達と伝え合ったりする。 ■「わたしの見つけた「？」」を書き、「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。	自分の身の回りには、さまざまな場所や多様な人々が生活していることがわかっていく。 【発】【行】【作】	探検を振り返って、気付いたことを絵や文で表したり、友達と伝え合ったりしている。 【発】【行】【作】	地域の特徴や新たな発見を友達と伝え合って、地域への理解を深めようとしている。 【発】【行】【作】

2	36~37	みんなで 図書かんとたんけんしよう	図書館を探検し、身の回りには、みんなのための施設やものがあること、多くの人々が利用していること、それらを支えている人がいることがわかり、適切に利用できるようにする。	○まちの公共施設にはどんなものがあるかを調べる。 ○地域の図書館を訪ね、利用している人たちの様子を見学したり、そこで働く人たちに、施設の設備、訪れる人たちなどについて、話を聞いたりする。 ○図書館の使い方を教えてもらったり、実際に使ってみたりする。	身の回りには、みんなでするものやみんなのための施設や場所があること、多くの人々が利用していることがわかっていて。 【発】【行】【作】	施設にあるものを見付けたり、利用方法を実際に確かめたりしながら、探検している。 【発】【行】【作】	図書館を利用したり、働く人に話を聞いたりしながら、適切に利用しようとしている。 【発】【行】【作】
1	38~39	見つけた ことをつたえ合おう	心にとまった場所や人々を伝え合い、地域にはさまざまな場所があり、多様な人々が生活していることに気づき、地域の役割や特徴を捉えることができるようにする。	○カードなどに気づきや発見を表現し、床地図に貼ったり、友達のカードを読んで感想を伝え合ったりする。 ○これまでに書いたカードを振り返り、新たに見つけたことや考えたことを話し合う。	地域には、さまざまな場所があり、そこには幼児や高齢者、障害のある人など多様な人々が生活していることに気づいている。 【発】【作】	心にとまった場所や人々を地図に位置づけながら、それらの特徴を捉えている。 【発】【作】	友達の体験をよく聞いて、地域の場所や人々、公共施設などの特徴や役割を捉えようとしている。 【発】【行】【作】
1	40~41	何を かんじたかな	探検で感じたことや、もっと知りたいことなどを伝え合い、地域の人々やさまざまな場所が自分の生活を支えていることがわかり、地域への愛着を深めることができるようにする。	○地域の自然や人、施設などのよさについて考え、話し合う。 ○地域のお店や施設、人々と自分の生活との関わりについて考え、話し合う。 ■「わたしがもっと知りたいこと」を書き、「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。 ★まち探検で体験したことを家の人に伝えたり、一緒に体験先を訪ねたりする。	地域で生活したり働いたりしている人々やさまざまな場所が自分の生活を支えていることがわかっていて。 【発】【作】	探検で感じたことを振り返りながら、もっと知りたいことややりたいことを絵や文で表現したり、伝え合ったりしている。 【発】【作】	地域で生活したり働いたりしている人々やさまざまな場所に親しみをもち、愛着を深めようとしている。 【発】【行】【作】
資料	42~43	わたしの まちの 自まん	自分たちの地域で自慢できることや方言などについて考え、地域への愛着をいっそう高める。				
資料	44	わたし まちの くふう	地域には、多様な人たちが生活をしていることやみんなが暮らしやすい工夫があることやに気づき、自分たちが住むまちや多様性の意識を高める。				
もしも	45	かこや みらいを見る ことができる モニターが あったら。	まちの学習をした経験をもとに、未来のまちを想像する。				

単元 (学習指導要領との関連)		目標		観点別評価規準			
めざせ 生きものはかせ (主たる内容7 内容8)  指導月 : 6~7月 配当時数 : 10時間 教科書 : 下巻p.46~57		生きものを育てる活動を通して、生きものたちがすんでいた場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、適切な世話の仕方や、それらが生命をもっていることや成長していることに気づき、生きものへの親しみをもち、大切にすることができるようにする。		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				生きものを育てる活動を通して、適切な世話の仕方や、それらが生命をもっていることや成長していることに気付いている。	生きものを育てる活動を通して、生きものたちがすんでいた場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	生きものを育てる活動を通して、生きものへの親しみをもち、大切にしようとしている。	
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	46~47	(単元の導入)	生きものを育てることを話し合い、自分たちで生きものを育てることができることに気づき、生きものを採取したり育てたりするイメージをもつことができるようにする。	○家で飼っている生きものを発表する。 ○これまでに自然の中で見つけた生きものや、飼ったことのある生きものについて話し合う。 ○学校の近くの自然の中にどんな生きものを見つけたことがあるかを発表する。 ○どんなところでどんな生きものを見つきたいか、どんな生きものを飼いたいかを話し合う。	自分たちで生きものを育てることができることに気付いている。 【発】【作】	これまでの経験を生かして、生きもの探しを計画している。 【発】【行】	生きものを育てることを話し合っ、生きものを採取したり育てたりするイメージをもとうとしている。 【発】【行】
2	48~49	生きものをつかまえよう	生きものの特徴を予想して、生息場所や生態に合わせた道具を準備し、自分で生きものを見つけることができるようにする。	○生きもの探しに行く場所や準備について話し合う。 ○安全に気をつけて生きもの探しに出かける。 ○友達と情報交換しながら生きものを探したり、捕まえたりする。 ○捕まえた生きものを持ち帰る。	・生きもの生息場所や生態がわかっている。 ・採取において、必要な道具を準備している。 【発】【行】【作】	生きものすみかの特徴を予想しながら、生きもの探しをしている。 【発】【行】【作】	必要な道具を準備して、自分で生きものを探そうとしている。 【発】【行】
3	50~51	生きものを見てみよう	育つ環境と関係づけながら、観察をしたり、特徴に合わせた適切な世話をし、形態や生態に気づき、生きものを大切にできるようにする。	○生きものすみかやえさについて話し合う。 ○飼い方について、生きものに詳しい人に聞いたり、図鑑や本を見たり、インターネットで調べたりする。 ○生きものに合ったすみかやえさを準備する。 ○すみかを整えて育てる。 ○不思議に思ったことや驚いたことをカードに記録する。 ●生きものからだのつくりを比較する。	・形態や生態に気付いている。 ・生きもの世話において、特徴に合わせた適切な仕方でも世話をしている。 【発】【作】	育つ環境と関係づけながら、観察したり世話をしたりしている。 【行】【作】	生きものの特徴に応じて、大切に世話をしようとしている。 【発】【行】

3	52~53	生きものの ことを つたえ合おう	生きものの特徴など伝えたいことを工夫してまとめ、相手に伝わるよさや楽しさ、適切な伝え方がわかり、伝えたいという思いをもち、すすんで交流できるようにする。	○自分の飼っている生きものを紹介し合うことについて話し合う。 ○発表の準備をする。 ○クイズや発表・新聞・身体表現などさまざまな方法で発表する。 ○活動を振り返り、発表会の感想を伝えたり、生活科ノートに記録したりする。	気付いたことを伝え合うことにおいて、相手に伝わるよさや楽しさ、適切な伝え方がわかっている。 【発】【行】【作】	生きものの特徴など伝えたいことを工夫してまとめて、伝え合っている。 【発】【行】【作】	自分が飼っている生きものについて、伝えたいという思いをもち、すすんで交流しようとしている。 【発】【行】
1	54~55	何を かんじたかな	育てて実感したことや生きものの特徴を伝え合い、上手に世話ができるようになったことに気づき、継続して育てた自分に自信をもち、生命あるものを大切にできるようにする。	○生き物を育てて思ったことや感じたこと、自分自身の成長などについて話し合う。 ○飼った後は生きものをどうするのかを話し合う。 ■「わたしのそだてた生きもの」を書き、「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。 ★発表のために作った作品をもとに、生きもの秘密について家族に教える。	生きものへの親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。 【発】【作】	自分の生きものの特徴を比較して伝えたいことを選び、伝え合っている。 【発】【行】【作】	生きものに親しみや愛着をもったり、自分の関わりが増したことに自信を持ったりしたことを実感し、これからも生命あるものとして関わろうとしている。 【発】【作】
資料	56~57	生きものの そだて方図かん	生きものの飼育環境やえさを、適宜、参考にする。				
資料	58~59	夏を 楽しむ くふうは どこ	春のまちの様子と比較して、自分たちが住む地域の自然や生活の様子に、どのような変化があったか考えたり、自分たちのまちの夏の行事を思い起こしたりする。				





5	64~65	インタビューをしよう	仕事をしている様子を丁寧に見たり、適切な言葉遣いで話を聞いたりし、これまで見ていなかった仕事やそれをしている人々の思いに気付き、関心を高めることができるようにする。	○お店を探検したりインタビューしたりするときに気をつけることを確認する。 ○仕事の仕方や手順、種類などについて観察したり聞き取ったりする。 ○お店や公共施設で、普段見ることのできないバックヤードの様子や、開店前や閉店後の仕事などについて教えてもらう。 ○気付いたり教えてもらったりしたことを整理してまとめる。	・これまで目に見えていなかった仕事や、仕事をしている人々の思いに気付いている。 ・インタビューの際、その場に応じた言葉遣いや適切な行動をしている。 【発】【作】	仕事をしている人々の思いや工夫を予想しながら、関わっている。 【発】【作】	仕事をしている人々の様子を丁寧に見たり、話を聞いたりしようとしている。 【発】【行】
5	66~67	しごとにチャレンジしよう	仕事の一部を体験する活動を通して、仕事の楽しさや難しさ、場に応じた適切な言葉遣いや行動に気付き、地域の人々の思いに心を寄せ、すすんで取り組むことができるようにする。	○仕事を体験させてもらう時に気を付けることを話し合う。 ○仕事の様子を見せてもらう。 ○仕事の内容を見たり聞いたりする中で、自分にもできそうなことを教えてもらい、やってみる。 ○やってみて感じたことや、考えたことをカードなどに記録する。	・仕事の楽しさや難しさに気付いている。 ・仕事をする際、その場に応じた言葉遣いや適切な行動をしている。 【発】【作】	適切な言葉遣いや行動を意識しながら、仕事に取り組んでいる。 【発】【作】	仕事を体験をしながら、地域の人々の思いに心を寄せ、すすんで取り組もうとしている。 【発】【行】
1	68~69	何を かんじたかな	自分が体験したことをまとめたり、友達と伝え合ったりして、仕事をしている人の思いや工夫に気付き、人々への親しみや愛着をもち、それらのよさを大切にできるようにする。	○仕事の大変さや楽しさ、仕事をしている人たちの思いなどについて、グループの友達と自分の考えを伝え合う。 ○働く人たちの笑顔の秘密について考えたり予想を立て直したりする。 ■「わたしがインタビューした人」を書き、「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。	それぞれの仕事には、さまざま思いや工夫があることに気付いている。	友達の体験や感想と比較しながら、自分の体験をまとめたり、友達と伝え合ったりしている。	仕事をしている人々の姿や自分が体験したことを思い起こして、人々への親しみや愛着をもち、それらのよさを大切にしようとしている。
3	70~71	体けんをつたえ合おう	探検場所で体験したことを自分たちの選んだ方法で表現し、伝えたいことが相手に伝わるよさがわかり、意欲をもって友達と伝え合うことができるようにする。	○体験してわかったことをグループの友達と情報交換する。 ○他のグループの友達に伝えるための方法について話し合う。 ○絵本や、クイズ、絵地図、新聞などの方法で、探検してわかったことや、体験して感じたことや考えたことなどを友達と協力して、まとめる。 ○体験発表会を開く。	伝えたいことが相手に伝わるよさがわかっている。 【発】【行】	他のグループの友達に伝えるために、何を伝えるか、どのような方法で伝えるかについて、考えながらまとめている。 【発】【行】	体験したことを知らせたいという意欲をもって、話し合いや表現活動に取り組んでいる。 【発】【行】

3	72~73	まちの 人にも つたえよう	伝えたいことや伝え方を選んで、多様な伝え方があることに気づき、相手や目的に合わせて、発表会の計画を立てることができるようにする。	○発表会の計画を立てる。 ○各グループでどのように表現するか話し合う。 ○発表の準備や練習をし、発表方法の改善をする。 ○招待状を作成して届けたり、ポスターを作って貼らせてもらったりする。 ■「ようこそえがおいっぱいはっぴょう会へ」を使って、自分が伝えたいことを整理する。	相手や目的に応じて、多様な伝え方があることに気付いている。 【発】 【作】	何を伝えるかを考え、伝えたいことや伝え方を選んでいく。 【発】 【行】 【作】	相手や目的に合わせて、発表会の計画を立てようとしている。 【発】 【行】
3	74~75	えがおいっぱい はっぴょう会	適切な言葉遣いで工夫して伝える、自分のことや伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさがわかり、相手の反応や状況に合わせて、伝えたいことや気持ちを表すことができるようにする。	○発表会の内容を、招待した人たちに説明する。 ○探検して見つけたことやわかったことを協力して表現する。 ○ほかのグループの発表を見て、質問したり、感想を述べたりする。 ○招待したまちの人から感想をもらって交流をする。 ○発表会を振り返り、感想をカードに書く。	・自分のことや伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさがわかっている。 ・伝える際に、適切な挨拶や言葉遣いしている。 【発】 【行】	相手の反応を確かめながら、伝え方を工夫している。 【発】 【行】	相手の反応や状況に合わせて、多様な方法で伝えたいことや気持ちを表そうとしている。 【発】 【行】
3	76~77	ありがとうを つたえよう	活動を振り返り、お世話になった相手のことを思い浮かべながら伝え方を工夫し、自分の気持ちを伝えるうれしさに気づき、多様な方法で、感謝の気持ちを表すことができるようにする。	○まち探検でお世話になった方にお礼を伝えることや、わかったことを身近な人たちに伝えることを話し合う。 ○手紙や感謝状、ポスターなど、グループごとに方法を決めて書き、届ける。	自分の気持ちが相手に伝わることのうれしさに気付いている。 【行】 【作】	これまでの体験をもとに、相手のことを思い浮かべながら、伝え方を工夫している。 【作】	多様な方法で、感謝の気持ちを表そうとしている。 【行】 【作】
1	78~79	何を かんじたかな	活動を振り返り、地域の人々や公共施設の利用などが、自分たちの生活を豊かに楽しんでいることを実感し、地域や多様な人々との関わりを自ら築いていこうとしている。	○仕事の大変さや楽しさ、仕事をしている人たちの思いなどについて話し合う。 ○働く人たちの笑顔の秘密について予想と比べたり話し合ったりする。 ○大人になったらしてみたい仕事ややりたい職業について伝え合う。 ■「わたしが見つけたえがおのひみつ」を書き、「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。 ★まち探検で体験したことを家の人に伝えたり、一緒に体験先を訪ねたりする。	地域の親しみを感じる人々や愛着のある場所、公共施設などが、自分たちの生活を豊かに楽しんでいることに気付いている。 【発】 【行】 【作】	地域の場所や人々を自分の生活と関連付けながら、捉えている。 【発】 【行】 【作】	地域の場所や人々、公共施設への親しみや愛着をもち、身近な人々と関わることのよさや楽しさを実感し、多様な人々との関わりを自ら築いていこうとしている。 【発】 【行】 【作】
資料	80~81	すてきな えがお あこがれの しごと	地域で多様な仕事をしている人々に気づき、これからの自分の生活や職業への意識を高める。				
資料	82~83	秋は どこに やって きた	夏のまちの様子と比較して、自分たちが住む地域の自然や生活の様子に、どのような変化があったか考えたり、自分たちのまちの秋の行事を思い起こしたりする。				

単元 (学習指導要領との関連)			目標		観点別評価規準		
作って ためして (主たる内容6 内容8)  指導月 : 12~1月 配当時数 : 20時間 教科書 : 下巻p.84~101			身近にあるものを使ったりして遊ぶ活動を通して、動くおもちゃを工夫して作ることができ、身近なものを使ってできる遊びの面白さ、素材のもつ特徴や不思議さ、約束やルール守って遊ぶと楽しいこと、道具や用具の準備や片づけ、掃除、整理整頓などをすると気持ちよく遊べることに気付き、みんなと楽しみながら遊びを創り出すことができるようにする。		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					身近なものを使ってできる遊びの面白さ、素材のもつ特徴や不思議さなどに気付いている。	身近にあるものを使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使うものを工夫して作っている。	身近にあるものを使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとする。
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	84~85	(単元の導入)	おもちゃの動きや材料を調べ、身近なものが遊びに利用できるように気付き、動くおもちゃを自分で作って、みんなで遊びたいという意欲をもつことができるようにする。	○休み時間などに見本の動くおもちゃで遊んだ経験を想起する。 ○例示のおもちゃがどのような動きをするのか予想し、話し合う。 ○おもちゃがどんな材料で作られているかを調べる。 ○自分たちにもおもちゃが作れそうか考え、おもちゃ作りへの見通しがもてるように話し合う。	身近なものが、いろいろな遊びに利用できるように気付いている。 <b>【発】【行】</b>	おもちゃの動きを予想し、どんな材料で作られているかを調べている。 <b>【発】【行】</b>	作りたいおもちゃを思い描き、見通しをもとうとしている。 <b>【発】【行】</b>
1	86~87	うごかして あそぼう	素材の特徴を生かし、動きを比べたり友達と競ったりして、目に見えない力、動きの面白さ、約束やルールを守って遊ぶと楽しいことに気付き、遊びを楽しくできるようにする。	○事前に輪ゴム、ガムテープ、ビニル袋、磁石などの材料を集めておく。それらの材料でどんな遊びができるか予想する。 ○素材遊びをする。素材のもつ目に見えない力や特徴を捉えながら、試したり、予測したり、工夫したりする。 ○素材遊びの振り返りをする。身近にあるものでどんなおもちゃを作れるのかを予想し、おもちゃ作りへの見通しをもつ。 ●磁石にくっつくものとくっつかないものとで、どのような違いがあるか考える。	・素材のもつ目に見えない力や特徴、動きの面白さに気付いている。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、約束やルール守って遊んでいる。 <b>【発】【行】</b>	素材の動きを比べたり、予想したり、友達と競ったりしながら、遊んでいる。 <b>【行】</b>	何度も動きを試して、遊びを楽しくしようとしている。 <b>【発】【行】</b>
6	88~88	うごく おもちゃを作ろう	おもちゃの動きを繰り返し確かめながら作り、おもちゃが動く仕組み、材料の組み合わせに気付き、自分のおもちゃをよりよくしたいという願いをもつことができるようにする。	○身近にある物を使って、自分が作りたいおもちゃを決める。 ○必要な材料や道具を考え、見通しをもつ。 ○素材遊びの経験や教科書、おもちゃ図鑑を参考にしながら動くおもちゃを作って試す。	おもちゃが動く仕組み、材料の組み合わせに気付いている。 <b>【発】【行】</b>	おもちゃの動きを予想したり、確かめたり、見直したりを繰り返しながら、おもちゃ作りをしている。 <b>【発】【行】</b>	友達と情報を共有して、自分のおもちゃをよりよくしたいという願いをもって作ろうとしている。 <b>【発】【行】</b>

1	90~91	何を かんじたかな	友達と情報交換し合って自分が作ったおもちゃを見直し、動くおもちゃには、材料や働く力が関係していることに気付き、よりよいおもちゃを作ることができるようにする。	○自分が作ったおもちゃについて、よかった点と改善点を出し合い、クラスで共有する。 ■「わたしの作ったおもちゃ」を書き、「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。	動くおもちゃには、おもちゃの材料やおもちゃにかける力が関連していることに気付いている。 【発】【行】【作】	おもちゃや遊びを工夫したり、友達と楽しく遊んだことを振り返り、表現している。 【発】【行】【作】	友達と共有した情報を生かして、おもちゃをよりよくしようとしている。 【発】【行】【作】
4	92~93	パワーアップ大作せん	試行錯誤を繰り返しておもちゃを改良し、力と動き、材料との関係に気付き、みんなで楽しく遊びたいという願いをもち、粘り強く遊びを創り出そうとしている。	○改善点を基に、「丈夫、早い、高い、遠い、面白い」という視点でおもちゃをよりよくしていく。 ○同じおもちゃのグループどうしで一緒に遊ぶ。 ○それぞれの視点を基におもちゃをよりよくしていく。自分のおもちゃをよりよくするための解決策を振り返る。	おもちゃにかける力と動き、材料との関係に気付いている。 【発】【行】	友達と比べたり、動きを繰り返し試したり、乗り物に見立てて飾りをつけたりしながら、おもちゃ改善するために使う材料、道具などを選んでいる。 【行】	完成したおもちゃを使って、みんなで楽しく遊びたいという願いをもち、粘り強く遊びを創り出そうとしている。 【発】【行】
6	94~95	おもちゃで あそぼう	友達のよさや自分との違いを取り入れ、約束やルールを守って友達と一緒に遊ぶと楽しいこと、適切な道具の使い方、準備や片づけに気付き、遊びを楽しくできるようにする。	○看板や得点表などを作成し、クラスや学年の児童と遊ぶための準備をする。 ○友達との関わりを大切にしながら、ルールや遊び方を工夫し、遊びを創り出したり、面白くしたりする。 ○単元を振り返り、できるようになったことや身に付いた力を自覚し、自分たちの生活をより楽しく豊かにする。 ■「こんなおもちゃであそんだよ」に絵や言葉で記録する。	・みんなで楽しく遊ぶ際、約束やルールを守って遊んでいる。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片づけ、掃除、整理整頓をしている。 【発】【行】	遊びの約束やルールなどを工夫しながら遊んでいる。 【発】【行】	友達のよさを取り入れたり、自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。 【発】【行】
1	96~97	何を かんじたかな	遊びを工夫し、友達と楽しく遊んだことを振り返り、自分と友達のおもちゃのよさがわかって自分気付く、身の回りの物を使ってみんなで遊ぶ工夫をして、毎日の生活を豊かにできるようにする。	○課題をどのように解決したのかを伝え合う。 ○自分や友達のよさを伝え合う。 ○これからも、身近なものを使って遊ぼうという思いをもつ。 ■「わたしのおもちゃのくふう」を書き、「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。 ★家族などに作ったおもちゃについて遊び方や工夫したところなどを説明し、一緒に遊ぶ。	自分と友達のおもちゃの違いやよさがわかって自分気付いている。 【発】【行】【作】	遊びを工夫したり、友達と楽しく遊んだことを振り返り、自分の取り組みや、友達との関わりを表現したり伝え合ったりしている。 【発】【行】【作】	身の回りの物を使って遊んだり、みんなで遊んだりすると生活が楽しくなることを実感し、これからの生活でも取り入れ毎日の生活を豊かにしようとしている。 【発】【行】【作】

資料	98～ 100	おもちゃの 作り方図かん	おもちゃの材料やおもちゃを作る手順を，適宜，参考にする。
もしも	101	はつ明が ひらめく ぼうしが あったら	動くおもちゃを作った経験をもとに，ものを動かす力を使った発明について 発想を広げる。
資料	102～ 103	北風が はこんで くる ものは なあに	秋のまちの様子と比較して，自分たちが住む地域の自然や生活の様子に，ど のような変化があったか考えたり，自分たちのまちの冬の行事を思い起こし たりする。

単元 (学習指導要領との関連)		目標			観点別評価規準		
あしたへ つなぐ 自分たんけん (主たる内容9 内容8)  指導月 : 2~3月 配当時数 : 20時間 教科書 : 下巻p.104~116		自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかるとともに、これまでの自分の生活や成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活できるようにする。			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかっている。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えている。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分自身の成長に関心を持ち、これまでの生活や成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。
時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	104~105	(単元の導入)	自分自身の成長に関心を持ち、自分のことを調べる方法を考え、今の自分と前の自分が違うことに気付き、自分の成長を振り返ることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活科の最後の学習であることを知り、自分自身について学習することを話し合う。</li> <li>○小学校に入学してからや2年生になってからできるようになったことや成長したと思うことを思い出す。</li> <li>○自分の成長を調べるためには、どのような方法があるのか話し合う。</li> </ul>	今の自分と前の自分が違うことに気付いている。 <b>【発】</b>	これからの活動を見通して、自分のことを調べる方法を伝え合っている。 <b>【発】</b>	自分自身の成長に関心を持ち、自分の成長を振り返ろうとしている。 <b>【発】</b>
3	106~107	自分について考えよう	現在の自分と比べながら、自分自身や出来事を振り返り、自分の成長の手がかりを、意欲をもって見つけたり集めたりすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○以前と比較してできるようになったことや得意になったことを考え、今の自分はどんな自分なのか考える。</li> <li>○クラスの中でどんな係や役割をしてきたかなどを考える。</li> <li>○家ででの自分の立場や役割についての変化を考える。</li> <li>○体の成長についてどのような変化があったかを考える。</li> </ul>	自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかっている。 <b>【発】</b>	現在の自分と比べながら、自分自身や出来事を振り返っている。 <b>【発】</b>	成長を振り返るために、手がかりを見つけてたり集めたりして意欲をもって調べようとしている。 <b>【発】</b>
6	108~109	まわりの人に聞いてみよう	自分について調べたことを集めて、優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心など、内面的な成長に気付き、意欲をもって調べることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の良いところや成長したところを調べ、カードなどに書いて伝え合う。</li> <li>○小さい頃に使っていた物や写真など、小さい頃の自分の手がかりを集める。</li> <li>○家族やお世話になった身近な人などに、小さい頃のものを取材する。</li> <li>○今の自分と比べ、どんなことが成長したのかを考える。</li> <li>○友達からのメッセージや、お世話になった身近な人からの情報をもとに、自分の成長をまとめる。</li> </ul>	優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心など、内面的な成長に気付いている。 <b>【発】 【行】 【作】</b>	自分について調べたことを分けながら、集めている。 <b>【発】 【行】 【作】</b>	

2	110~111	何を かんじたかな	自分の成長を支えてくれた身近な人々の存在や自分との関わりについて気づき、感謝の気持ちを持ち、自分なりに表現し伝えることができるようにする。	○自分が成長するまでに、誰がどのように成長を支えてくれたかについて考える。 ○友達と自分の成長を伝え合いながら、互いに認め合い、喜びを味わう。 ■「わたしが自分にはく手したいこと」を書き、「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。	自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付いている。 【発】【行】【作】	成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりについて考え、感謝の気持ちを表している。 【発】【行】【作】	自分自身の成長を支えてくれた人々に感謝をもち、伝えようとしている。 【発】【行】【作】
6	112~113	楽しかったね 生活科	3年生の学習や生活に夢や希望をもち、それを表現することができるようにする。	○3年生の教室に行き、3年生の生活について話を聞いたり、社会や理科などの授業を実際に見せてもらったりする。 ○3年生がどんなことをしていたか、どんなふうに見えたか、3年生になってやってみたいことなどを発表し合う。 ○3年生になった自分がどのように成長しているか予想し、話し合う。	自分自身のよさや可能性に気付いている。 【発】【作】	自分らしさを捉え、自分の成長に希望をもち、これからの生活について考えている。 【発】【行】	これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。 【発】【行】
2	114~115	何を かんじたかな	これからの自分の生活への期待を作文で表現することができるようにする。	○これまでの自分を振り返るとともに、自分になりたい3年生の姿を考え、発表する。 ○これからがんばりたいことややってみたいことなどをカードなどに書いて整理し、書きたいことを選んで作文する。 ■「わたしの3年生の目ひょう」を書き、「まんぞくはしご」を使って活動を振り返る。 ★3年生になって、がんばりたいことや希望について家族に伝える。		これからの生活について考えながら、自分らしさを捉えている。 【発】【行】【作】	
もしも	116	みらいの自分が 見える ぼうえんきょうが あったら	自分の成長を学習した経験をもとに、未来の自分を心に描く。				